

2011 おいでませ!山口国体・おいでませ!山口大会



# ちよるる

広報紙

Vol.09

君の一生けんめいに会いたい

## Contents

おいでませ!山口国体/おいでませ!山口大会

**頑張っちよる!**

フェンシング/バレーボール

**応援しちよる!**

ぶちやっちよる隊!! / 陸上競技伴走者

**知っちよる!**

会場地リレー<光市>/おしえて!ちよるる

**やっちよる!**

ちよるるが挑戦!<フットサル>

ちよるる情報BOX/NEWS&トピックス





# 頑張っちよる

## 注目の競技 フェンシング

ペサーブルの3種目があり、競技の基本となるフルーレは、剣先で胴体部分を突くと有効と認められます。判定は電気審判器を使い、突いた瞬間にランプが点灯。有効が無効かが瞬時に分かるようになっていきます。

自身も成年男子フルーレの選手である富田さんは「対戦相手の動きを読みながら攻撃と防御を繰り返して、相手との駆け引きが勝敗を左右します。」と言います。



山口県立岩国工業高校  
フェンシング部 部長・監督  
とみだ ひろき  
富田 弘樹さん

体出場すらままならない状況が続いていましたが、昨年の秋田国体では成年男子がサーブルで7位、今年の大分国体では成年女子がフルーレで7位入賞を果たすなど、競技力が向上しつつあります。

山口国体では、岩国市総合体育館が会場となるフェンシング競技。富田さんは「勝ちたいという明確な目標が選手たちの中に芽生えつつあります。山口国体での目標はもちろん優勝です。」と意気込んでいます。



山口県勢は、昭和39年の新潟国体で成年男子が優勝して以降、国



山口県立岩国総合支援学校教諭  
たぐま みつな  
田熊 光菜さん

熊毛南高校入学と同時にフェンシングを始め、3年のインターハイで団体準優勝するなどの実績の持ち主。今春から山口県に戻り、早速、成年女子の選手として、大分国体に出場。「人一倍練習を積んで、山口国体では上位入賞を果たしたいです。」と頼もしいコメント。

この選手に  
注目！

# 知っちよる?



## 会場地りレ一

### 光市

光市国体準備室 室長  
たしろ せつお  
田代 節雄さん

光市を訪れる選手・関係者に「名前の通り、光り輝く素敵な街という印象を持ってもらいたい。」と話す田代室長。一人ひとりの市民に思い深く残る山口国体を目指して日々奮闘中です。

●**光市で行われる競技は?**  
正式競技のセーリングとバドミントン、スポーツ行事のレクリエーション卓球です。

●**セーリングは海上で競技が行われます。何か、運営上の工夫はありますか?**  
大型スクリーンで試合の様子を中継し、解説を交えながら観戦できないか検討しています。地元でハイレベルな試合を観戦できる絶好の機会なので、一人でも多くの市民に楽しんでいただけたらという工夫します。

●**どのような国体を目指していますか?**  
選手・関係者と市民との交流が深まる場になればと思います。市民が選手に「頑張つてね。」と気軽に声を掛けて、世間話ができるアットホームな雰囲気をつくっていきたくです。

●**国体に向けての抱負をお願いします。**  
「光市で競技ができて良かった。」と心の底から思っていただけのような普段着のおもてなしを心掛けます。



光市国体準備室のみなさん

### 光市で行われる競技



# 君の一生けんめいに会いたい 山口国体

## ●参加のきっかけは?

三浦 県民の一人として何らかの形で山口国体に関わることができないかと考えていました。

田中 高校生の時に「国民文化祭やまぐち2006」のボランティアに加わり、会場案内などを経験しました。全国から集まった来場者に分かりやすく説明するのは大変でしたが、その頃から山口国体でもボランティアをしたいと考えていました。

## ●この9月からは、いよいよPR活動も本格化しますね。

三浦 私たち学生が参加するきっかけは様々ですが、「山口国体を盛り上げよう」という気持ちは大の「大」の字と、学生の元気を表す星(☆)をデザインしたシンボルマークや、「ぶちよる」や「ぶちよる」などというネーミング

は、私たちが考案したんですよ。

田中 私は幼児教育を専攻しているのですが、かわいらしい「ぶちよる」は子ども達の人気者です。家族で国体を知ってもらうきっかけになるよう、イベントでのPRを頑張っています。

## ●最後に、読者のみなさんにひとこと!

田中 大学・短大の垣根を越えた新たな出会いなど、ぶちよるちよるの活動を通して得られるものが必ずあります。

三浦 学生ボランティアは年度ごとの登録制です。これを読んでいる学生のみなさん、私たちと一緒に国体のPRをしてみませんか?

## 学生広報ボランティア「ぶちよる隊!!」

国体史上初、学生限定の広報ボランティアで、県内16すべての大学・短大から学生約180人が登録。各地の祭りやイベント会場で山口国体・山口大会のPR活動を行います。

おいでませ! 山口国体 県民きらめきセンター  
●住所 山口市滝町1-1 県政資料館1階  
●TEL (083)933-2885



仕事帰りや  
休日に楽しめる  
手軽なスポーツ!

## 子どもから大人まで気軽に楽しめるスポーツとして

近年、人気が高まっているフットサル。平成19年からは、全国リーグ戦「Fリーグ」もスタート。山口県内では柳井市を本拠地とする「SAファイターズ」などが地域リーグに参戦し、好成績を収めています。

山口県フットサル連盟の藤川住久理事長は「一般的には少人数のサッカーと思われがちですが、実際はサッカー以上にスリリングでスピード感のある試合が展開されています。」と

## みんなで楽しめるスポーツ フットサルにちよるるが挑戦!

●山口県フットサル連盟東部ブロック事務局 ●TEL (0820)24-5151



強調します。

フットサルの公式試合は1チーム5人で行われ、コートは20m×40mと、サッカーの68m×105mよりもはるかに狭くなっています。試合時間は20分ハーフですが、ボールがコートから出た時などにいったん時計を止めるブレイキングタイムを採用しており、実際の試合時間が1時間以上に及ぶことも少なくありません。「狭いコートを選手が所狭しと走り回るので、思いのほかハードです。」と藤川さん。

現在の愛好者は学生時代にサッカーを経験した社会人がほとんどで、幼いころからフットサルに取り組める体制づくりが急務とされています。

山口国体では、スポーツ行事として柳井市の柳井ウエルネスパーク多目的広場で試合が行われます。

# 応援しちよる

## ぶちよる隊!!



みうら りえ 三浦 理恵さん (山口県立大学)  
たなか みゆき 田中 美幸さん (山口短期大学)

# やっちよる

ピックアップスポーツ

県内では社会人チームだけでも100チーム以上が活動しているんだよ。



ちよるるの ヒト・コト

注目の競技 バレーボール

「試合中の結束力は、他のどのチームにも負けていません。」と津田野監督が自信をのぞかせます。

アドバイスをする姿も見られます。

「試合中の結束力は、他のどのチームにも負けていません。」と津田野監督が自信をのぞかせます。

知的障害のある人たちが結成されたバレーボールチーム「下関ブルータイフーン」は、平成16年の全国障害者スポーツ大会・埼玉大会で初出場ながら3位入賞。平成18年の兵庫大会では準優勝しました。

現在の部員は15人。若手選手の台頭が著しく、ポジション争いもし烈になっています。選手は週2回、仕事や学校が終わった後に集まり、約2時間、実践形式の練習に取り組んでいます。



下関ブルータイフーン監督 津田野智康さん



この選手に注目！  
にしだ あつし  
西田 篤さん

平成6年のチーム発足時から在籍。双子の西田兄弟の兄で、鋭いアタックを武器とする、チームのムードメーカー的存在。3位に終わった昨年の秋田大会を振り返り「悔しくて眠れなかった。今年こそはリベンジを。」と意気込んでいます。



早いパス回しとネット際の攻防は、パワフルでスピード感にあふれています。

チームは10月に開催される大分大会に出場します。津田野監督は「強豪ぞろいの中国ブロック大会を3年連続で勝ち抜いたことは、大きな自信につながっています。大分大会では必ず優勝します。」と気合は十分です。

おしえて！  
ちよるる

Q どのような競技が実施されるの？

A 個人競技が6競技、団体競技が7競技の合計13競技が実施されるんだよ。今回はその中から個人競技を紹介するよ。

陸上競技  
山口市

100m走などの一般的な種目と、車椅子によるスラロームなど障害の部位や程度に合わせてルールを工夫した種目があります。

水泳  
山口市

自由形、平泳ぎなどの種目があり、障害によっては水中スタートや浮具の使用が認められます。

卓球  
山口市

一般の卓球と、視覚障害のある選手が金属の入ったボールを転がし、音を頼りに打ち合うサウンドテーブルテニスがあります。

フライングディスク  
山口市

樹脂製のディスクを使い、スローの正確さを競う「アキュラシー」と、飛距離を競う「ディスタンス」があります。

アーチェリー  
防府市

50mと30m先の標的を射る「50m・30mラウンド」と、30m先の標的を2度射る「30mダブルラウンド」の2種目があります。

ボウリング  
下関市

ルールは一般と同じです。大会では4ゲームのトータルスコアで順位を競います。



君の一生けんめいに会いたい  
山口大会

● 伴走を始めたきっかけは？

もともと走ることが好きだったので、11年前に何か社会貢献活動ができないかと思っていた頃、九州のロードレースの大会を見て伴走を知ったんです。当時、山口県には伴走者の会はなく、それならば作ってしまおうと、同じ思いを共にする仲間と平成10年に日本盲人マラソン協会山口県支部を立ち上げました。

● レースでは、どのようなことをするのですか？

伴走者は、視覚障害のある選手にその日の天候や進路、路面の危険箇所を知らせ、安全を確保し、一緒にロードを握りながら短距離やマラソンなどを走ります。

レース以外でもプライベート

● 魅力を感じることは？

伴走を通して「共汗・共歓・共感」の3つを得ることができると、自分も目標に向かっていける、そういう感動があります。

● 山口大会に向けてひとこと！

一人でも多くの方にスポーツボランティアに携わって欲しいです。特に、若い方の伴走者が増えただけで少ないので、まずは競技を見に来て、少しでも興味を持つてもらえればと思います。

日本盲人マラソン協会  
山口県支部  
伴走者(陸上競技)  
つばい やするう  
坪井康郎さん

JBMA(日本盲人マラソン協会)は視覚障害者と晴眼者が一緒になり健康とコミュニケーションを目的とし、ランニングやウォーキングを共に楽しむボランティアグループです。

視覚障害者が出場する特定の競走競技では伴走者が認められます。

応援しちよる



NEWS & トピックス

全国障害者スポーツ大会結団式

7月12日(土)、第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」に出場する山口県選手団の結団式が、山口県セミナーパークで行われ、藤田選手団団長に団旗が渡されました。

選手を代表して、山口県立山口総合支援学校3年の中村選手が「山口県の代表として参加できるうれしさと責任を感じています。自分の可能性を信じて練習に励み、ベストのプレーができるようがんばります。」と決意を述べました。



山口県選手団(選手46名 役員37名)



障害者スポーツ指導員養成講習会

7月から9月にかけて、下関市障害者スポーツセンターで、障害者スポーツ指導員養成講習会が開催されました。

受講者約30名が参加し、障害者福祉や安全管理などの講義やフライングディスクなどの障害者スポーツの実技講習を受けました。



君の一生けんめいに会いたい



## PRポスター第2弾!! 「燃える目のちよるる」

「ちよるる」と両大会の開催を紹介するPRポスター(第2弾)ができあがり、県内各所に配布しています。スポーツの躍動感や両大会に関わる人々の一生懸命を「ちよるる」の燃える目で表現したデザインです。



## 9月4日(木) 民間施設募金箱第1号の設置 ちよるる募金がスタート!



募金を呼びかけるちよるる

両大会を支え、盛り上げていく取組として、9月1日から「ちよるる募金」がスタートしました。募金は、最寄りの金融機関で受け付けているほか、公共施設やちよるるが参加するイベント会場で募金箱を用意しています。9月4日には、シーモール下関専門店街さんのご協力を得て、1階インフォメーションカウンターに、民間施設では初の募金箱を設置しました。両大会の成功に向けて、皆様のご協力をお願いします。



## 9月1日(月) 国体スタートダッシュセレモニー 「ちよるる☆フレンズ」委嘱式



会長を囲んで記念撮影

両大会の広報活動を各地域で本格的に展開するのに伴い、9月1日、山口県庁で「国体スタートダッシュセレモニー」を開催しました。PR活動に携わるキャンペーンスタッフ「ちよるる☆フレンズ」に、二井実行委員会会長から委嘱状とたすきが手渡され、スタッフは「多くの県民とともに、両大会を盛り上げていきます。」と、力強く抱負を述べました。また、ちよるるのモニュメントも初披露。県庁エントランスと、県庁前交差点に設置しています。



## 9月7日(日) PR活動 本格的な広報活動がスタート



クイズ正解者にはちよるるからプレゼントが

9月7日、道の駅阿武町で行われた「山ぞくまつり」会場で、「ちよるる☆フレンズ」と学生ボランティア「ぶちやちよる隊!!」が初めてのPR活動を行いました。ちよるるは、両大会についてのクイズコーナーで会場を盛り上げたほか、子どもたちから記念撮影や握手を求められるなど大人気。ちよるるは、今後も、各市町の祭りやイベント会場でPRを行いますので、見かけたら気軽に声をかけてください。